# 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　2月　14日

事業所名 Roselle Association CLUBIII

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | 活動に必要なスペースを確保している。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 6 | | 管理者兼児童発達管理責任者1名、保育士２名、児童指導員2名配置しております。 | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | | 一日のスケジュールをホワイトボードに記入し、見通しをたてられるよう工夫している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 6 | | 営業開始前後、トイレ・室内・外の清掃を実施。 | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | | 朝のブリーフィングでその都度、見直しを行なっている。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | アンケートをもとに業務の見直しが出来るので助かります。 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | ホームページでの公開を行なっている。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | | 第三者委員会は設置していないが、同グループでの検討を行い、業務改善に繋げている。社内実地指導を実施し他事業所や他法人のアドバイスを改善に役立てている | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | 支援向上委員会・虐待防止委員会等の研修を実施。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 6 | | モニタリングで情報を集め課題分析している。 | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | | 第三者委員会は設置していないが、同グループでの検討を行い、業務改善に繋げている。社内実地指導を実施し他事業所や他法人のアドバイスを改善に役立てている | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 6 | | 移行時に本人が困らないよう情報の共有を行なっている。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 6 | | 個別支援計画書作成時に必ず職員と会議を行なっ | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | マンネリしないよう、室内でのプログラム・屋外 | 法人（グループ）での運動プログラムを実施しているが充実したプログラムに |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | 児童の意見も取り入れ工夫している。 | 法人（グループ）での運動プログラムを実施しているが充実したプログラムに |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | 6 | | 職員と情報を合わせて作成している。 | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | 毎日、ブリーフィングを実施している。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している | 6 | | 毎朝のブリーフィング時に気づいた点や支援に関して情報共有している。 | 緊急性が高い内容であれば実施しているが、翌朝のブリーフィングでの振り返りをしている。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | 児童の成長記録をとることで支援の改善につなげている。提供日誌・成長記録をとり、振り返りを職員と実施。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | | ６ヶ月以内にモニタリングを行い、見直ししている。 | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | 児童発達支援管理責任者と状況に応じて児童指導員（保育士）を同席して | OJTにて児童指導員をトレーニング中。 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 1 | 5 | | 関係機関との連携を相談支援事業所などの協力を得て進めていく | | |
| | 23 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | 6 | 医療的ケアが必要な児童の該当なし | | | |
| | 24 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | 6 | 医療的ケアが必要な児童の該当なし | | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | | 移行時に本人が困らないよう情報の共有を行なっている。 | | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | | 学校から引き継ぎの際、利用児童の情報交換を行なっている。 | | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 5 | | 関係機関との連携を相談支援事業所などの協力を得て進めていく | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 6 | | コロナ禍で地域との関わりが減った、今後関われるよう検討していく。 | | |
| | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 5 | | 関係機関との連携を協力を得て進めていく | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | 送迎時もしくは連絡帳など活用している。 | | | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている | 6 | | 様々な機会に提案や支援方法をアドバイスしている。 | | | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | | 契約時に説明を行なっている。 | | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 6 | | 個別支援計画書に保護者の同意サインを頂いている。 | | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | | 様々な機会に提案や支援方法をアドバイスしている。 | さらに保護者が気軽に相談できる体制を整えていきたい。 | | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 6 | | 保護者会、スポフェスティバル、音楽祭を実施している。 | 保護者同士で話し合う時間を設けられなかったので、次回改善できるようにしていく。 | | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | 保護者からの要望等で業務改善に努めている。 | | | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | 月一回おたよりを配布し、活動の様子を発信している。 | | | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | | 個人情報の取り扱いに関して同意書を取っている。 | | | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | 伝える際に分かりやすく、短く説明を意識している。 | | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 6 | | コロナ禍でのイベント開催が減り、地域との関わりが減った。検討していく | | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 6 | | BCPを作成し職員間で共有。避難訓練なども実施。 | マニュアルの職員周知は出来ているが、保護者への周知と訓練に対する実施報告について、おたより等で伝えていく。 | | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | 年2回避難訓練を実施。 | | | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 6 | | 一覧表で把握できるよう工夫している。 | | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | | 一覧表で把握できるよう工夫している。 | | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | ヒヤリハット発生時に事故に繋がらないよう職員で話し合っている。 | | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | | 年２回以上で委員会による研修をグループ全体で実施している。 | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6 | | 身体拘束に関するマニュアルのもと同意書等のフォーマットは準備できている。該当児童なし | | | |
| | | | | | | | | |
| | ○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |